

データ提供に関するご説明

データ駆動型マテリアル研究開発へのご理解・ご協力のために

豊田工業大学 スポーク機関
代表者 佐々木実



E-mail: arim_office@toyota-ti.ac.jp, mnr-sasaki@toyota-ti.ac.jp



まず、データ提供は義務ではなく 自由意志にて公開可能な内容で行うものです

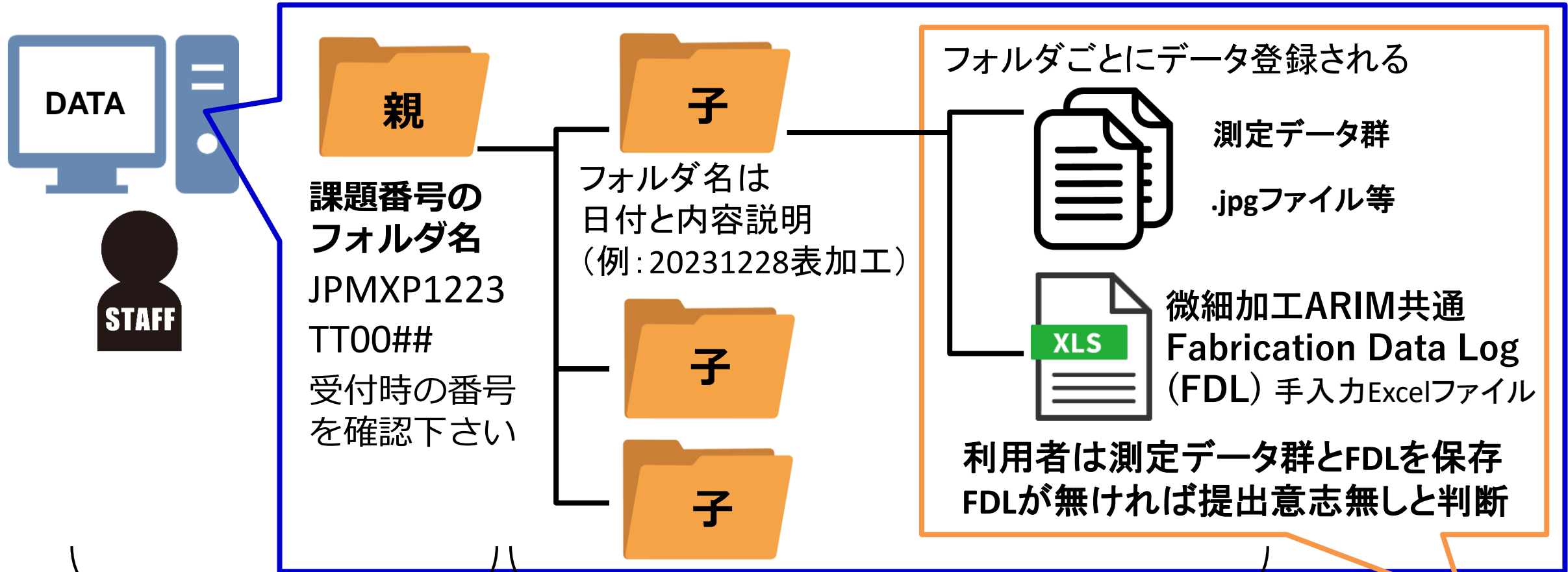
「データ登録あり」は、第三者に提出データが公開されます。
秘密にしたい場合は「データ登録なし」でARIMをご利用下さい。
但し、割高の利用料になります。

データ提供のARIM利用者のメリット

1. 日々の実験記録を、測定データとセットで整理でき、
研究チーム内のノウハウ伝承、支援員との情報伝達が確実になる。
2. 構造化データは軽量なテキストベースのフォーマットになり
専用ソフト無しでデータ閲覧可（構造化プログラムが順に整備される）。
3. 研究チームはUSBメモリ等を介さずクラウド経由でデータをやりとり。



保存フォルダの構成と提供頂くデータ



本学の、データ蓄積サーバ
(データ提出ノートPC)に用意

装置利用者が、装置近辺にある
データ提出ノートPCを利用して保存



FDLファイルに課題番号等を書き込んで、データ提供有の利用者に事前送付。
コツ: 実験前にサンプル材料等の情報記入を済ませておくと効率的。



FDLファイルに入力すれば必須項目が揃う仕組み

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	2	PB		RDE 項目	入力 必須	Input/入力欄	Input/入力欄	Input/入力例	Unit/単位	Data type/データ型
2	RDE取り込み列					*				
3	Fundamental information/基本情報	User name	登録申請書の申込者を事務局が仮記入。異なる場合は変更下さい。					豊工太郎		character/文字列
4		Registration No.	豊田工大受付番号			JPMXP1223TT00		JPMXP1222TT0050		character/文字列
5		Theme	申請書の利用課題名					サンプルの計測		character/文字列
6	ID, date, environment/ID, 作業日, 環境	Data ID/Sample name	Data ID/試料名	*	*			MEMS振動子		
7		Date yyyy/mm/dd	作業日	*	*			2023年10月12日		
8		Time hh:mm	作業時間					1時間00分		
9		Temperature	室温					25.0℃	℃	
10		Humidity	湿度					50.%	%	
11										
12	Sample/試料	Material	材料	*	*			SOI		character/文字列
13		Size	大きさ	*	*			20mm□		character/文字列
14		Thickness	厚さ	*	*			10/1/200	μm	float/浮動小数点数
15		Material-top surface	基板表面の主な材料	*	*			n-type Si		character/文字列
16		Quantity	枚数	*	*			1 pcs	pcs	integer/整数
17										
18	Metrology and characterization/観察・評価	Equipment	装置(選択/自由入力)		*			G-02_デジタルマイクロスコブ群_Keyence		character/文字列
19		Equipment (ARIM No.)	装置(ARIM No.)	*				TT-015		character/文字列
20		File-M-1	測定ファイル					0V.jpg		
21		File-M-2	測定ファイル					100V.jpg		
22		Other info-M	その他情報	*				変位量10um		
23										
24	Relating information/関連情報	Pre-processing	事前処理					***で製作、真空デシケータ		
		Lot No.	別データとのつながりや比較が分かるよ					Lot20230803試作物		character/文字列

該当シートのデータ入力する列の上(2行目)に「*」を入力。別のデータと「*」が混じらないこと。

本データ名が後のRDEで利用される

左に「*」が片方でもある項目は入力必須。

項目は固定で編集NG

本学参考値(ピンクの列)

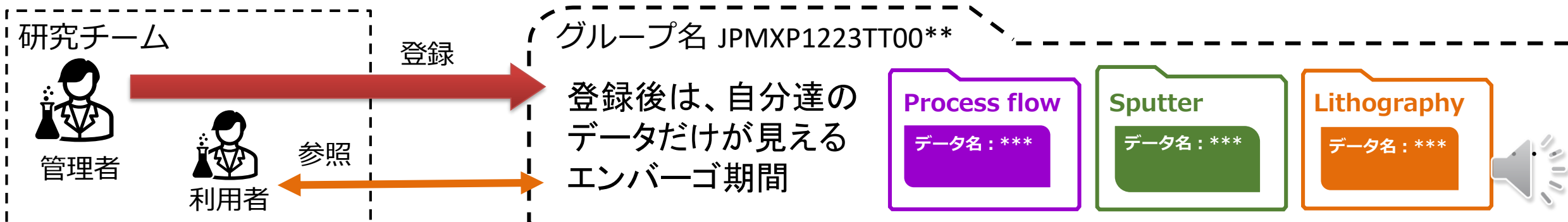
シート名は固定

注意: FDL内のシート名、項目は勝手に編集してはいけません

コツ: FDLファイルに予め入力、実験待ち時間に入力すると効率的
測定ファイル名を決めておき、装置にダミーファイル保存しておくのが便利

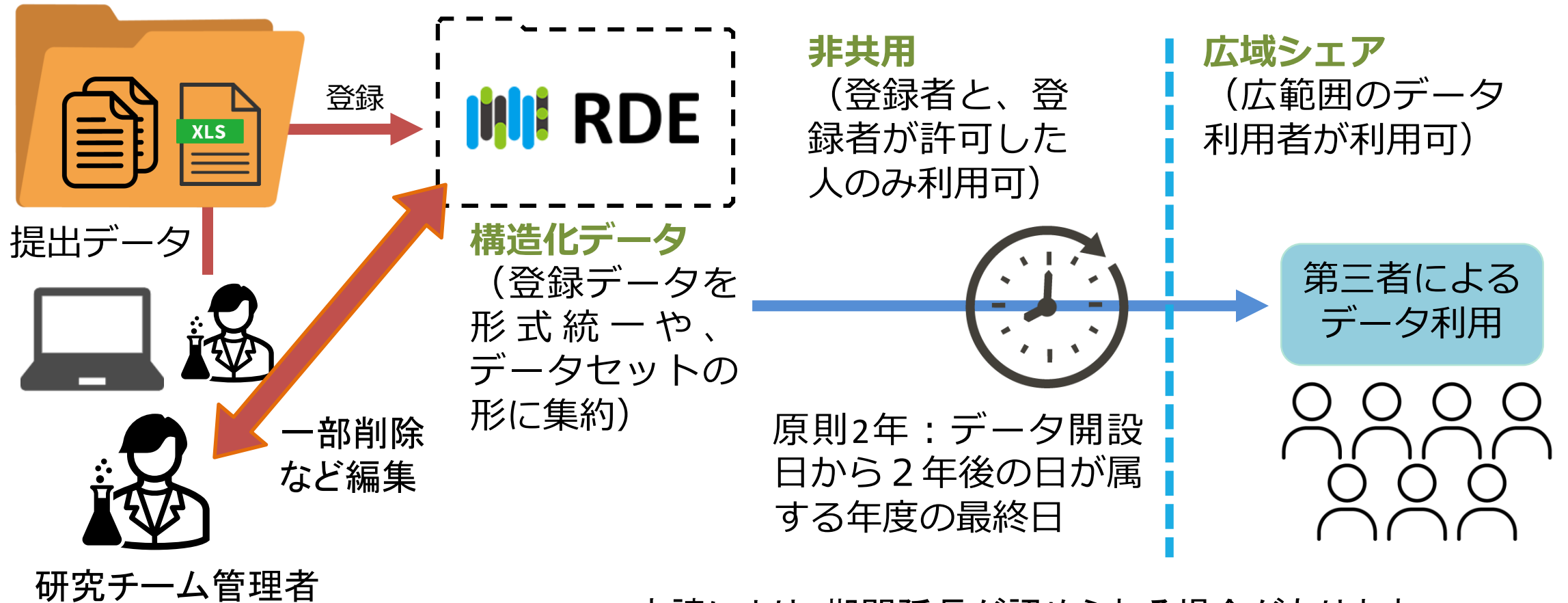


データ登録と登録先RDE (クラウド上のシステム)



エンバーゴ期間終了まで2年

RDE上のデータが公開されて良いかを、確認する期間。
この間に研究チーム管理者は、問題無い状態にして下さい。



申請により、期間延長が認められる場合があります。

細部のご質問はお問合せ下さい。

